

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #18

持続可能な海業に向かって!!

生まれ育った細島を元気にしたい!

～九州農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定～

令和7年度九州農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定された高田一人(かずと)さんは、15年前に東京からリターンし、地元日向市細島のまちづくりに参加することで、漁業者の高齢化や減少による地元の課題をあらためて感じました。

細島の原点である海で働き、地域の豊かな資源を活用することで細島を元気にしたいとの思いから新規就漁し、大型定置網乗組員などを経て、県の事業支援も受けながら宮崎県初となる小型底定置網漁業を始めました。



漁業体験の様子



水中ドローンを操作実演する高田さん

また、地元漁協の協力も得ながら実証試験したムラサキウニの陸上畜養は、実用化に向けた検討を行っています。観光面では漁業体験の充実や細島独自のお土産の開発を検討するなど、取組活動の計画は尽きません。

更に、他の地区の活動にも積極的にに関わり、IT企業などの経験も活かしながら漁業の魅力を発信し、担い手の確保に繋げていきたいと地域ぐるみの活動を続けています。



1月26日に選定証を授与されました。

💡「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」

農林水産省と内閣官房は、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として、毎年全国選定しています。

また、全国選定以外の中から九州管内独自の特長ある優れた取組について、九州農政局で選定し、情報発信することとしています。

拠点のうそき

●1月14日

「へべすの悠美園」(日向市)を訪問しました。

「へべすの悠美園」の黒木公作さんは、露地で日向市特産のへべすを栽培し、8月中旬から黄色に色づく12月まで収穫しています。花から実になる割合は数パーセントと少ないですが、宮崎県内で2番目に「ひなたGAP」を取得し、毎年土壌分析を行いながら施肥の管理を行うなどして、昨年は約3.3トン収穫。青果の他ふるさと納税返礼品や加工品向けに出荷しています。



剪定作業をする黒木さん

娘の悠美さんと一緒に

農林水産関係予算の概要はこちらから(農水省HP)



令和8年度概算



令和7年度補正

NEW!!

宮崎県内の
みどり戦略の
実現に向けた
取組事例集

みどり認定、
みえるらべる、
J-クレジットなどの
県内各地の事例を
紹介しています!



宮崎県拠点
WEBサイト
掲載ページ

宮崎県における
みどりの食料システム戦略の実現に向けた
取組事例集(みどり認定、みえるらべる、J-クレジット)

令和8年1月
九州農政局宮崎県拠点



放牧養豚による循環型農業の確立 (Pioneer Park)

【基本情報】
 ● 所在地: Pioneer Park (代表 有方 幸太郎)
 ● 所在地: 宮崎県日向市
 ● 事業内容: 放牧養豚 (肥育)
 ● 放牧面積: 約400a
 ● 飼育頭数: 約300頭 (中ヨークシャー、バーシャー)
 ● 従業員: 約10人
 ● 販売先: 直売所、レストラン、ふるさと納税、レストラン

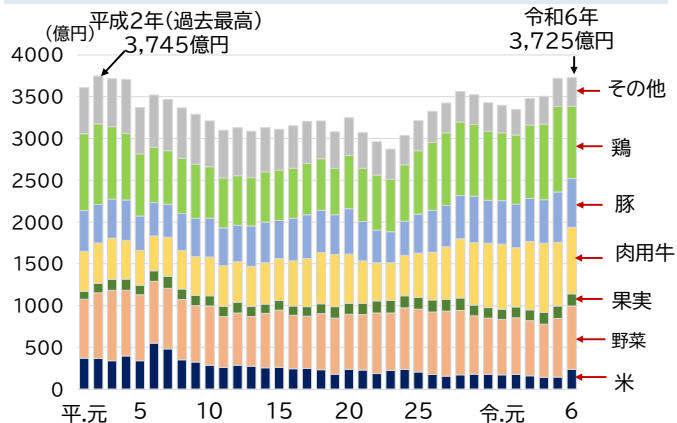
【きっかけ】
 宮崎県内各地に広がる放牧養豚の取り組みをきっかけに、放牧養豚の魅力を広げ、循環型農業の確立を目指す。光通地(アメリカ)において1年半放牧養豚を学ぶ。放牧養豚の魅力を広げ、循環型農業の確立を目指す。放牧養豚の魅力を広げ、循環型農業の確立を目指す。

【今後の展開】
 放牧養豚の魅力を広げ、循環型農業の確立を目指す。放牧養豚の魅力を広げ、循環型農業の確立を目指す。放牧養豚の魅力を広げ、循環型農業の確立を目指す。

テータで見る宮崎の 農業産出額 !!

- 令和6年における宮崎県の農業産出額は、鶏(ブロイラー・鶏卵)の価格低下などが影響したことから前年比155億円(15.2%)減少したものの、米や野菜を中心とした耕種部門の価格上昇により同比146億円(12.2%)増加したことから、農業産出額合計では同比5億円(0.1%)増加し、**3,725億円(全国7位)**となりました(過去2番目の高水準)。
- 品目別にはきゅうりの全国1位を始め、全国上位の品目が多くあります。

農業産出額の推移(宮崎県)



宮崎県の品目別順位

順位	品目	前年差	全国順位
1位	肉用牛	797	32
2位	ブロイラー	756	△71
3位	豚	580	△20
4位	米	237	91
5位	きゅうり	208	12
6位	ピーマン	119	△4
7位	生乳	88	2
8位	鶏卵	82	△84
9位	かんしょ	74	13
10位	トマト	64	3

資料: 農林水産省 「令和6年農業産出額」

編集後記

2月は28日と短い1か月ですが、節分をはじめ祝日も複数回あります。節分は、季節の分かれ目で立春の前日。邪を祓うために豆まきをしますが、落花生をまくのは南九州だけでなく、北海道や東北でもみられるようです。まいた後で食べやすいのは殻の付いた落花生のような気がします。小袋入り的大豆も良いですね。豆の食べすぎに注意しながら、春を心待ちに過ごしたいものです。(m/)

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
 TEL 0985-24-2365
 〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17